

學報

学校法人 北海学園 北海商科大学



Vol.08

2010.6.15

発行:北海商科大学
編集:北海商科大学広報委員会
〒062-8607
札幌市豊平区豊平6条6丁目10番
TEL:011-841-1161(代)
FAX:011-824-0801
http://www.hokkai.ac.jp
制作:(株)ラボット

Hokkai School of Commerce Newsletter

主な記事

学部長・センター長挨拶	2面
2009年度卒業式	2面
2010年度入試結果概要	3面
就職状況について	3面
APQ科目試験合格者数、保護者説明会	3面
特集「異文化体験、留学のススメ」	4面・5面
東アジア観光情報学研究会、ハINASから	5面
ゼミ訪問、著者に聞く	6面
体育祭【フォトギャラリー】	7面
サークル紹介、大学生協商科大店オープン	7面
医務室から「二十代の健康」①	7面
教員・職員紹介、行事予定	8面
公開講座、交換留学生来日	8面

TOPICS
話題1

2010年度入学式挙行

平成22(2010)年度入学式が4月3日、札幌パークホテルにて、新入生196名、交流校からの交換留学生16名を迎え、多くのご来賓、ご家族のみなさん、教職員の列席のもと挙行されました。新入生の清々しい息吹で、北海商科大学の新年度のスタートがきらわれました。

今年度入学者の増加は「アジアの時代にアジアを学ぶ」という本学の教育目標が、高く評価されてきたことによるものです。森本正夫学長の祝辞では、世界の中でのアジアの重要性を実践的教育の中に生かした本学で、「明日への飛躍」を期待として述べられました。



新入生代表鍋谷佑さんによる宣誓

森本正夫学長祝辞

北国の春のこの佳き日に、北海商科大学の新入生196名と交流校である中国山東大学威海分校と中国煙台大学からそれぞれ6名、計12名、韓国大田大学から4名の留学生、合わせて212名の入学式を、保護者、関係者の皆様とともに挙行できますことは、私ども教職員一同が深く喜びとするところであります。

東京以北で最大の都市、人口190万人を擁する札幌市の豊平区で、地下鉄に直結した恵まれた都市環境のもとに開学して五年目を迎える、この北海商科大学の新たな歴史は、きょう入学された皆さんが、築き上げて行くものです。教職員一同も、優れた成績で入学した皆さんと独自の校風を作っていくことを楽しみにしております。

北海商科大学は新しい大学ですが、母体である北海学園の歴史は古く、創立は125年前の明治18年にさかのぼります。現在、北海学園は、北海学園大学と大学院のほか、北海高校と北海学園札幌高校を設置しており、1万2千名を有する学生生徒が日夜勉学に励み、また課外活動に精を出しています。学

アジアの時代に、アジアを学ぶ。

栗山町桜まつりに参加、春の留学生交流会が賑やかに行われる



中国・韓国交換留学生と日本人学生との交流会(5月1日、栗山町栗山公園において)

園全体の卒業生は14万名ほどにもなり、道内はもとより、全国各地、さらに海外でも活躍しております。きょう皆さんは、その北海学園の仲間として迎えられたわけです。

皆さんの入学した商学部では、新しいアジアの時代の商業活動に欠かせない知識を広く学び、経済学部や経営学部とはまた違った、実践教育にも力を入れております。特に最初は、皆さんの将来に役に立つ外国語の教育と異文化の理解に力を入れます。そしてカナダや中国、韓国への語学実践留学も予定されています。

海外の教育研修交流姉妹大学は、北海道の姉妹州のカナダのアルバータ州南部にあり、29年の交流実績があるレスブリッジ大学、中国では沿岸部の風光明媚な山東半島にある、山東大学威海分校と煙台大学、韓国では札幌市と姉妹都市であつて昔の百濟王国の地にある大田大学校がすでに皆さんを受け入れる準備を整えています。皆さんは、アジアの時代にアジアの若者たちと新しい大学で学ぶことになるわけです。

さて、大学とは広く知識を学び、真理を探究するところです。基礎的な教育もあれば専門的な研究もありますが、総じて、教育研究の機関として、人類の学問的文化的遺産を、次の世代に伝達し継承するという、公共性の高い

社会的使命を負っています。そうした大学で学ぶことは人格形成にもつながります。そのため本学では多彩なカリキュラムを用意しております。特に、少人数教育を重視し、研究と教育を統合する人材育成システムを目指しています。また、語学、情報管理、観光、貿易通商、社会行政などの分野で高度な技能と資格の取得を目指すなど、学問を通して実践的教育を実現して行くカリキュラムを特徴としております。

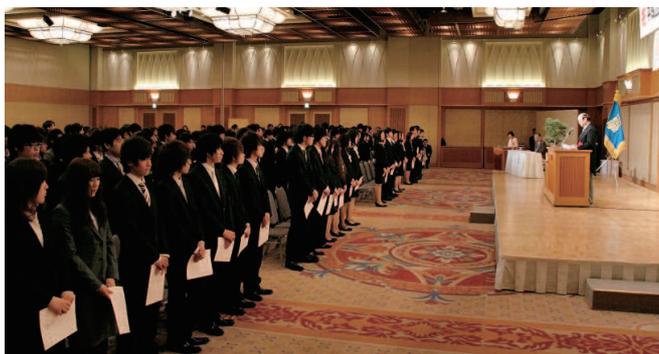
私は常々、大学教育の真髄は、学問を通じての、教師と学生との人間的一体化であると思っております。ゼミナールを通じての、教授と学生との学問に関するやり取りを通じて、皆さんの人格形成がなされるものと期待しております。歴史ある北海学園の、恵ま

れた環境の中で、学生生活を大切に、課外活動や社会活動にも積極的に取り組んでいただきたいと願っております。

新入生の皆さんにおかれましては、きょうの入学式の喜びを忘れず、これからの学生生活に反映させてください。明日への飛躍を確かなものとするよう、皆さんが健康に留意し、四年間精一杯努力することを期待しています。



森本 正夫 学長



2010年度入学式で式辞を述べる森本正夫学長

MESSAGE..... 挨拶 1 学部長・センター長挨拶——新年度にあたって

新年度にあたり、学部長・センター長挨拶と各センターの機能、役割について紹介します。

本学は商学部だけの単科大学として、専門的に商学を基軸にする教育・研究を深めるとともに、世界の動きを察知して、そうした動きに対応しうる機動力のある新しい大学運営を目指して設置されました。教育目標は「アジアの時代にアジアを学ぶ」ことで世界やアジアで活躍する人材を育てていくことにあります。このような目標を達成するために、新しい大学運営システムとして学長以下商学部長、および6つのセンター（学術発展センター、入試・広報センター、教務センター、キャリア支援センター、学生支援センター、国際交流センター）を設け、各センター長のもとに国際化に対応する大学づくりが進められています。

本学の カリキュラムの特徴

商学部長
西川 博史 教授



「アジアの時代にアジアを学ぶ」を基本理念とする本学のカリキュラムの特徴は以下のようです。グローバルな視野をもって世界やアジアで活躍できる人材を育成するための語学習得ならびに海外留学プログラムを実施します。また、教養科目と専門基礎科目を併設することによって、基礎的知識を身につけることを目指すとともに、コミュニケーション能力向上のために相互対話を基本にした少人数教育を実施しています。これらのプログラムはすでに着実に成果をあげており、こうした成果を基盤に、本学がいつそう発展・飛躍することを願っています。

積極果敢な 学問的チャレンジ

学術発展センター長
伊藤 昭男 教授



“少年よ、大志を抱け”という有名な言葉があります。学生はその潜在力を信じて大志を実現するために、受け身ではなく、自らの意思で積極果敢に学問的チャレンジをしなければなりません。今を楽に生きて挑戦しない者は、未来の敗者にしかかなりえないのです。本学では、学生希望図書申込制度や公開講座への参加、訪問しやすい研究室環境など学生の学術面でのサポートにも配慮しています。学術研鑽の場としての大学を大いに活用し、また大学時代を人生の知力充実期として悔いなく過ごされることを節に望んでいます。

入試制度や 実施方法の改善へ

入試・広報センター長
細野 昌和 准教授



入試・広報センターでは、絶えず変化する入試環境に対応すべく、入試制度や実施方法の改善を行っています。今回は、旭川地方試験場を設け、周辺在住の志願者皆さんの時間や費用の負担を軽減する改善を行い好評でした。さらに、次回2011年実施の入学試験では、学部入試制度を導入します。この制度によって、入学後、本学2学科それぞれの特徴をよく理解してからの学科選択が可能になります。また、志願者がより確実に実力発揮した受験が可能になるように、2教科2科目の選択で実施していたセンター入試を3教科3科目からの選択に幅を広げます。

質の高い教育 サービスを提供

教務センター長
阿部 秀明 教授



この4月に教務センター長に就任いたしました。今年度は、大学の教育研究活動等の質を問う認証評価を受けることが重要課題となっています。教務センターでは、こうした認証評価に併せて、本学の独自性に基づく特徴を一層高めるため、カリキュラムなど教育内容の改善やより効果的な授業評価システムの構築に取り組んでいます。今、大学に求められているのは、「より質の高い教育サービス」を提供することです。学生にとって「質の高い大学」となるよう、教職員一丸となって力を尽くしてまいります。今後とも、本学の教育に対するご理解とご支援をお願い致します。

就職に向けて 活動開始!

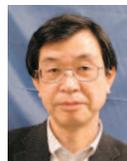
キャリア支援センター長
中島 茂幸 教授



就職に向けて何か考え始めていますか。会社名ですか、仕事内容や業種ですか、勤務地ですか、給料ですか、休暇ですか、具体的に考えていますか。キャリア支援センター委員会では、皆様就職して卒業できるように応援する体制を整えております。また、全教職員が皆様の就職に向けて支援するようお持ちしています。自分一人で悩まず、教職員に相談して下さい。ささいなこと、一寸したことだけでもよく分らないこと。遠慮なく、キャリア担当の先生、ゼミの先生、職員など誰にでも結構です。ドンドン質問して自分で道を切り開いて行きましょう。「意志あるところに道がある」「就活ガンバロー!」

学生支援の充実 をめざして

学生支援センター長
村越 雅雄 教授



教務、就職、留学支援以外の、学生生活全般を支援することが主な仕事です。具体的には、課外活動（体育系サークル、研究系サークル、語学系サークル）を経済的にも活動上でも支援しています。また、奨学金、学生の福利厚生などの支援にも力を入れています。学生健康相談では、新年度から「医務室」に看護師が常駐することになりました。さらに8月には、学生生活における様々なトラブルや「心の悩み」に対応すべく、臨床心理士によるカウンセリング体制を整備することになっています。学生支援で最も大切なのは「対話」だと思います。学生のみならず、遠慮せず、気楽に相談してみてください。

さらなる国際交流 にむけて

国際交流センター長
加藤 由紀子 准教授



本学は、「アジアの時代にアジアを学ぶ」を教育目標に、韓国や中国との交流による教育の実践に力を入れており、交流協定校である中国の山東大学威海分校、煙台大学、韓国の大田大学から研究者や学生を迎え、また学生の派遣を行なっています。今年度は、カナダのレスブリッジ大学夏期海外研修学生を派遣してから25年目の節目を迎え、英語圏への留学の機運も高まっています。また、留学生が中心であった札幌市や栗山町などの国際交流にも、日本人学生の参加が増えってきました。さらに学生達が幅広く交流を広げていけるよう、支援をしていきたいと考えます。

TOPICS.. 話題2 2009年度留学生修了式

平成21(2009)年度の交換留学生の修了式が、本年2月17日に挙行されました。本学では、交流協定校である中国の山東大学威海分校、煙台大学、韓国の大田大学から1年間の交換留学生を受け入れています。ほとんどの留学生がそれぞれの大学の日語日文学科の3-4年次に在籍しており、本学では留学生プログラムとして、日本語や日本に関する生活文化などを履修し、さらに教職課程など一部は除外はあるものの、開講されている科目の講義を日本人学生と一緒に受講してきました。

滞在中は交流行事のほか、スポーツ大会や大学祭などの学内行事などに、



日本人学生とともに参加し、特に中国語や韓国語のサークル活動では、双方の語学力向上に力を尽くしました。

国際交流センターでは中国・韓国からの交換留学生に対し、機会があるごとに住んでいる地域などに対して自国の文化などを紹介することを奨励していますが、この意をよく理解し、札幌国際プラザボランティアサークル「スカイ」主催の留学生とのヒアリング交流会や留学生とアフタヌーントークなどに参加し、札幌市民へ自国の紹介を怠りません。毎年6月に行われるラプアースクリーンアップ活動では、札幌市南区八剣山周辺で日本人学生とともに環境ボランティアとして清掃活動を行ったり、地域交流協定のある栗山町では「児童会館祭り」「若手農業後継者との交流会」に参加しました。

修了式では、日本人派遣学生の留学成果報告も行なわれましたが、それぞれが多様な留学生生活を送ったことが留学成果発表や謝辞に表われており、今後一層の精進を期待いたします。(加藤)

TOPICS.. 話題3 2009年度卒業証書・学位記授与式挙行

平成21(2009)年度卒業証書・学位記授与式が3月18日、札幌パークホテルにて、挙行されました。

本年、新たに社会に巣立った卒業生121名(内、商学科83名、観光産業学科38名)は、平成18年度、新生「北海商科大学」の1期生として入学しました。特に2年次以降は最上級年次として、様々な面において北海商科大学を牽引し、開学間もないキャンパスでの困難な条件の中でも、絶えず発掘と

活動的に大学生活を送りました。

今後の新たな活動の場でも北海商科大学同窓生としての活躍を祈ります。



学生表彰された軟式野球部



REPORT 報告1 2010年度入試結果概要

大学受験人口における少子化の傾向が強まり、多くの大学では志願者の激減が起きている中、2010年2月13日に実施された本学の平成22(2010)年度の入試志願者倍率は全体で4.2倍と、2008年に次ぐ高い倍率を示しました。また、いわゆる進学校からの受験者が増え、受験層が徐々に変化している傾向が見られます。さらに、今年度の特徴としては、入試合格者の中からの入学辞退者が極めて少なかったことも上げられます。



2010年度的一般入試本学会場(2月13日)

大学に限らず、少子化の進む中でも志願倍率が算出できる人気校においては、試験成績をもとにして決められる入学試験の合格者数の最終決定は、その他の要因も考慮して行われます。つまり、成績の上位者から合格者を決定してゆき、何人までを合格者として発表するかは、その学校の教育方針などで決められます。本学では、少子化の傾向のもとにあっても大学における学生の学力レベルを保ち、高い教育水準を維持するために、受験生には厳しい高い試験成績でそれを判断しています。

一方、多くの受験生は複数校を志願しているため、合格しても入学を辞退する志願者がどの学校においても発生

します。しかし、本学の場合は、辞退者のために万が一募集定員を割ることがあっても学力レベルを保つことを優先して合格者数を決定しています。ところが、今年度の入学試験と入学手続きの結果は、うれしい誤算を生みました。入学辞退者数は想定していた人数をはるかに下回り、196人という予想以上の多くの入学生を迎え入れる結果になったのです。このことは、北海道大学を第一志望とする受験生が増加したことを意味します。

本学の教育方針の一つとして少数人数教育があります。入学数が増えた今年度もその方針を貫くために、北海道大学の教員は講義の開講時間数を増やし、また施設・設備の充実をはかって新たな入学生たちの期待に応える教育を行っていきます。(細野)

入学志願者数の推移



REPORT 報告3 APQ科目資格合格者数

既に前号でも紹介したように、本学では、各学科の専門科目を基礎として一層のキャリアアップを図るとともに、国際化するビジネスに柔軟に対応して行けるようなビジネスパーソンを養成するためのAPQ科目を開講しています。表は2008、2009年度における教育成果の一部であるAPQ関係資格合格者数を示したものです。昨年度と比較して、全体的に上級の検定合格者が増えている点に特徴があります。とりわけ、語学では、難易度が高いHSK(中国語)、TOPIK(韓国語)の上級合格や情報系のMCAS(PowerPoint)上級の資格取得、税務会計能力検定や貿易実務検定の上級合格者が増えています。さらに、旅行業務取扱管理者で

は、国内旅行業務取扱管理者が全国平均で30%、総合旅行業務取扱管理者で15~20%と難易度が非常に高い中で、2009年度では当該総合管理者の国家資格を取得するなど、着実に成果が上がっています。今後もさらなる成果が期待されることです。

経済不況が続く昨今の現状からも学生諸君の将来は厳しい就職活動が予想されますが、そんな時代だからこそ、こうした「ポータブルスキル」を身につけ、自分自身に磨きをかける必要があります。仕事に必要な専門知識や職場内での人間関係は、後からでも学ぶことが可能ですので、早い段階でポータブルスキルを増やしていくことが、就職活動を有利にする秘訣といえるでしょう。有効求職者数の増加と、それと反比例する有効求人数の低下により、日本はまさに「働きたくても仕事がない」状態となっています。このような時代を生き抜くためには「自分自身の価値を高める」必要があり、そのためには業種・業態を選ばないポータブルスキルを身につけることが大切なのです。

ポータブルスキルは、語学や情報系、簿記、貿易実務といった汎用性の高い「ベーシックスキル」と旅行業務取扱管理者といった業界内で絶大な力を発揮する「プロフェッショナルスキル」の二つに分かれますが、自分の描く理想の将来像にあわせて必要なスキルを選ぶことが大切です。APQ科目を積極的に活用して、資格取得に向け努力することを期待します。(阿部)

APQ関係検定試験合格者数

科目名	試験名	級等	2008年度	2009年度
PAL (I~IV)	HSK (中国語)	8級	—	1
		7級	—	1
		6級	2	6
		5級	2	5
		4級	9	7
	TOPIK (韓国語)	3級	3	5
		6級	—	1
		5級	—	1
		4級	2	9
		3級	4	5
TOEIC (英語)	800点以上	—	1	
	700~799	—	1	
	600~699	2	—	
	550~599	4	5	
情報管理論 (I~III)	MOS (マイクロソフト オフィス スペシャリスト)	Excel	56	48
		Word	44	48
		Power Point	—	22
税務会計論 (I~III)	税務会計能力検定	2級	7	19
		3級	9	16
		2級	2	4
		3級	13	10
通商実務論 (I~IV)	貿易実務検定	C級	1	6
		検定	—	—
旅行業務論 (I~IV)	旅行業務取扱管理者	国内	7	6
		総合	—	1

注) TOEICに関しては、PAL受講者以外の受験者を含む

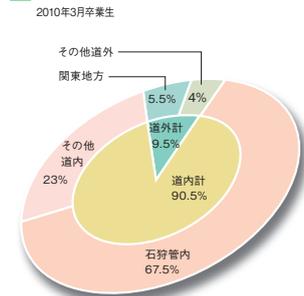
REPORT 報告2 就職状況について

本年も昨年以上に就職氷河期といわれてきました。このような状況ではありましたが、学生も就職活動に健闘し、就職希望者のうち82.4%の就職率となりました。おめでとうございます。改めて就職活動の熱意と努力に敬意を表するところです。

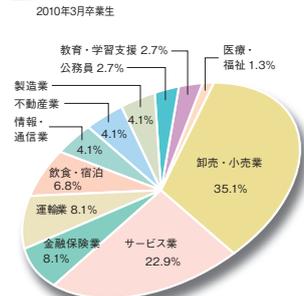
卒業生のうちには、今後さらに研鑽して次年度に公務員試験を目指す者や専門性を高めるため専門学校へ進む者もいます。それも人生の一つの選択肢であると思います。

本年の就職者の就職先の状況を分析しますと次のようになっています。就職先企業を道内外に主な地理的区分をしてみますと図表1のような状況でした。

図表1 本社所在地別就職状況



図表2 業種別就職状況



図表3 主な就職先

- 2010年3月卒業生
- 企業名 ※敬称略、順不同
 - 北海道警察 / 美瑛高校 / 釧路商業高校
 - 私立学校教職員 / 清田区役所 / 北央信用組合
 - 十勝信用組合 / 第一生保 / 明治安田生命保険
 - JR北海道 / ANAグランドサービス / 中道リース
 - ニトリ / ヨドバシカメラ / 北海道ココロラ
 - コブさっぼろ / ホクレン肥料 / カナモト
 - 竹山オルゴール堂 / 野口観光
 - 知床第一ホテル / 札幌ホールディング
 - サッポロドラッグストア / JALUXエアポート
 - 北海道振興

次に就職先の企業を業種別に見てみますと、1位が卸小売業の流通業で35.1%、2位がサービス業22.9%と多くなっています。全体は図表2のような状況でした。

主な具体的な勤務先としては、図表3のように、公務員・教職をはじめ卸売・小売といった商業流通、ホテル、エージェントなどの観光関連へと幅広く活躍の場を求めて就職されて行きました。これからご活躍が期待されます。

次年度卒業予定の学生には、先輩に続いて頑張ってくださいと思います。

確かに大手企業の平成23年度求人予定状況を見ると一部には採用数を増加させる企業もありますが、大方の企業は本年度以上に採用人員を絞り込んでいる。一方は、日本企業数の98%という多数の中小企業では人材不足という声も聞かれています。中小企業では早期に一人前の仕事を与えられます。自立するのが速くなるメリットもあります。確かに自分の思うところと多少相違していても、仕事を通じて好きになったり、好きだと思ったりして入社しても現実の厳しさに退職したりする場合があります。

次の時代は皆さんが築いていくのです。「どんな仕事でも3年間は何でもやってみよう」という強い意気込みで取り組んで速く仕事を覚えたら、自分で会社を起こして、是非発展させて下さい。(中島)



学内で行われた業界研究会(2月23日)

3年次5月から就職ガイダンスが始まりますが、キャリア支援センターは適職診断テスト、個人面談など4年次の本格的活動に向けてのさまざまな支援を行います。

REPORT 報告4 3年次、2年次保護者説明会開催

平成22年度3年次、2年次保護者説明会が5月22日、29日にそれぞれ開催されました。

本学では、日頃の教育内容、学生支援の取り組みなどを保護者の方々に知っていただくために、毎年学年単位でおこなっています。当日は合わせて約80名の保護者の方が出席されました。学生生活全般について、平成21年度就職状況の報告、22年度の本校就職支援体制など各担当者から話されました。

3年次は就職活動が活発化することから、外部講師(株式会社キャリアバンク加細雅章氏)を招き、『子供の就



就職活動への親の関わり方」と題する講演が行われ、「就職活動を契機に親子間のコミュニケーションをはかる絶好の機会にしてほしい」などの話に皆さん熱心に耳を傾けていました。説明会終了後は個別相談も行われました。

特集～異文化体験、留学のススメ～

座談会

本学では、1年次に実施している半年間の交換留学プログラムをはじめ、数多くの学生が積極的に留学を経験しています。外国語をその本場で学ぶこと、海外で専門教育を受けることは、異文化への理解を深め、多様な視点を育む良い機会です。5名の学生が留学体験や意義について語る座談会と、長期留学で海外生活を送る本学学生の寄稿とで、「留学のいま」を伝えます。



山東大学威海分校のキャンパス

—まずは、みなさんが留学したきっかけについて教えてください。

■吉川：最初の留学は、選抜試験を受けるという友達につられて。2度目の留学は、韓国語能力試験の6級合格に必要だと思ったからです。



■吉川 彩
(よしかわ あや)
商学科4年
[留学先]韓国・大田大学校
('07年8月～'08年2月、
'09年3月～'10年1月)

■清水 (洸)：僕は1年間留学する権利をもらったからです。行かないのはもったいないと思いました。

■清水 (敬)：大学の交流プログラムではなく、個人的に留学を決めました。たくさん理由はありますが、留学を経験したほうが卒業後の人生を濃密に過ごせる気がしたからです。

■阿部：まず1年次に交換留学プログラムで。2度目は、就職活動を前にして、何かひとつ自信をもちたかったからです。満足するまで中国語を勉強してみよう。

■宮沢：京都でたくさん外国人観光客を見たことです。北海道にもっと中国人観光客が来れば景気が良くなるのではないかと思い、観光も中国語も学べて、留学もできる本学を選びました。

—留学先で学んだこと、印象に残っていることはありますか？



司会
水野 俊平 教授
(みずの しゅんぺい)
韓国語および国際交流担当

■宮沢：国が違えば、すべて違いますね。最初は言葉も伝わらなかったし、国民性として自己主張がはっきりしているので、されるがままでしたよ(笑)。そして勉強熱心です。大学の図書館では、開館前から学生が列をつくれます。

■阿部：中国人の積極性を見て、日本人の心を大切にしながら、伝えたいことは伝えられる人になりたいと思いましたよ。親元を離れた生活、日本での方常が通用しなかったことなど、精神面がきたえられました。

■清水 (敬)：うん。僕はカナダだったけど、文法的に正しくない英語でも自分からコミュニケーションをとらないと、友達はできなかったな。動かないとだめだと思った。心の垣根が低いとも思います。ある日帰ると、ルームシェアをしていた友人が、道で声をかけたという初対面の人と壁紙を塗り直していた(笑)。日本の垣根は高すぎるんじゃないかな。

■阿部：確かに。電車で片道24時間かけて西安に行ったときのことだけど、友人と席が離れ一人になってしまって、身構えていたんです。けれど、まわりから話しかけてくれたり、お菓子をくれたり。

■清水 (洸)：語学は、発音もヒアリングも自然に慣れます。韓国は、コミュニケーションの手段としてお酒は大きかったですね。一番仲良くなれる場でしたよ。もちろん飲めない人も一緒にいるだけでよし。僕は消極的な性格だったのですが、変わらなければと思いました。人付き合いについて、いろいろと学びました。



■清水 洸平
(しみず こうへい)
商学科4
[留学先]韓国・大田大学校
('09年3月～'10年1月)

■吉川：韓国にはフレンドリーな人と同じくらい、歴史的な背景から日本に対して反感をもっている人もいましたね。

■清水 (敬)：カナダと逆に、日本のことをあまり知らないようだった。「サムライがいるんだよ」というような感覚(笑)。—語学だけなら日本でも学べますよね。留学の前と後で、自分自身の変化は感じていますか？

■吉川：語学に関しても、上達の早さは

全然違います。4年間しかない大学生活でひとつの言語をマスターしたいと思うなら、留学するべきだと思います。

■宮沢：外国の人に対する固定観念や、自分の価値観が変わりましたよ。

■清水 (敬)：そうだね、変わったよ。必ずしも人に合わせなきゃいけないことはなくて、「自分」でいいんだと思った。



■清水 敬
(しみず たかし)
商学科4年
[留学先]
カナダ・PGIC, ESL
('09年3月～'10年2月)

■阿部：文化の違いについては、もう慣れてしまいました。許容範囲が広がったのもプラスですね(笑)。学生時代の海外経験は人生の財産。幅が広がると思えますよ。

—やっぱり留学の前後では変わるものなんですね。最後に、留学で得た経験をどのように活かしていきたいか聞かせてください。

■宮沢：将来どんな職業に就くかわかり



■宮沢 直斗
(みやざわ なおと)
観光産業学科2年
[留学先]
中国・山東大学威海分校
('09年8月～'10年2月)

中国ハルビン ～私の留学生活



観光産業学科4年
堀内 真希



国費留学でハルビンへ

2009年9月大学3年の後期、私は国費留学という機会を北海商科大学側から頂き、ここ中国ハルビンにある黒竜江大学へ留学にきました。時の流れは驚くほど早いもので、ハルビンでの留学生活も約半年の月日が流れました。今自分自身で振り返ってみるととても有意義な時間をここハルビンで過ごせたと実感している次第です。それは、ここが他ならぬ自分自身が好きな言語——中国語と毎日触れること、そして何よりここハルビンが自分の大好きな中国語との関係性をより密接なものにしてくれたからだと思います。そこで今回この学報の場をお借りして、中国ハルビンでの私の留学生活の様子を紹介させて頂くとともに、皆さんに中国ハルビンはどのような場所なのかを少しでも知っていただければと思います。

国際色豊かな黒龍江大学での一日

私は中国ハルビンにある黒竜江大学にて、現在言語履修生として外国人留学生とともに中国語を学んでいます。黒

竜江大学は生徒数約35,000人の総合大学であり、そのうち日本人留学生は約20人と圧倒的に日本人の少ない環境です。中国人学生及び教師は基本的に大学キャンパス内の寮またはマンションで生活を送っており、一つの大学が一つの大きな街を形成しているかのようです。例えば、スーパー、食堂、運動場、運動施設(プール・ジム・陸上競技場)銀行、郵便局、病院などにより日常生活には困らないほどの環境が大学内に整っています。これは、日本の大学との最大の違いではないかと私は感じます。また、大学の授業は、基本的に朝8時から始まり、私の場合は、午前中は必修授業(精読・会話)の授業がメインとなっていて、午後は選択科目(中国概況・HSK資格試験対策)を履修しています。私の所属するクラスは約20人の上級者クラスで、韓国・ロシア・イタリア・スペイン・キルギスタン・日本の学生から構成されており、国際色が豊かです。そのため会話の授業では、各々の自国と中国という観点からディスカッション形式で行われることがほとんどです。自分の考えを中国語で述べるのはもちろん大変難しいことではあるのですが、それ以上にディスカッションを通して中国語の表現がうまくできたときや相手に自分の中国語がうまく伝わって、ディスカッションが盛り上がった時はこの上ない充実感を感じます。

ハルビン、人・街・気候

放課後はというと、週に2回中国人学生と相互学習をします。この際、私は中



ハルビン市街

国語を教えてもらう代わりに、日本語を教えるという形で勉強するのが基本です。また、よく寮の近くにあるプールや体育館に行きバドミントンをして汗を流します。帰宅後、友達と大学のそばにある店に夜ごはんを食べに行き、お互い中国語をしゃべりながら交流しています。ハルビンで食べるものは、いわゆる中国の「東北料理」という塩辛いものがほとんどです。

休日はよくハルビン市内の散策をします。ハルビンは「東洋のモスクワ」と言われるほどあって西洋文化、特にロシアの影響を強く受けており、街の至る所にロシア風の建築物が見受けられます。週末、気分転換するにはちょうど良い風景が街中広がっているのです。また、ここハルビンは、方言が多い中国の中でも標準語がきれいな地域として有名です。そのため、ハルビンの人々がしゃべる中国語は、外国人が中国語を学ぶには絶好の地域と言われています。休日、ハルビン市内の街に足を伸ばしてみれば、人々がしゃべるきれいな中国語が聞けます。これは、ハルビンで中国語を学ぶ最大の利点ではないかと私は思っています。また、ハルビンは北海

道よりも冬の寒さが厳しく、毎年12月から2月にかけては-30度にも達するほど極寒の地です。この期間、国際的にも有名なハルビン氷祭りが開催され、ハルビンは国内外から来た多くの人で賑わいます。去年の年末には-32度を記録した日があり、さすがの寒さに道産子の私も寒さに音を上げていました。これはあくまで私個人の解釈なのですが、ハルビンの人々は心が広くとても親切だと思えます。冬の厳しい寒さ、人々の心の広さ……どこか北海道の人と似ているなあと感じます。なので、私はハルビンの人、気候、環境、がとてとても気に入っています。

残り1年全力投球で!!

ここまで留学生活の大まかな紹介とハルビンについて綴ってきましたが、皆さんにはどのように伝わったでしょうか?—私は残り約1年をここハルビン黒竜江大学で留学生活を送る予定でいます。来学期は本科生として、中国人学生と一緒に授業を受けることになります。若干の不安もありますが、私自身期待の方が大きく、今後の留学生活も有意義な時間が過ごせるようにいろいろなことに全力投球していこうと思っています。



ハルビン国際氷祭り

せんが、中国の人や文化について、少しでも伝えていきたいと思ひます。

■阿部：北海道と中国をつなげられるような仕事に就きたいです。いま、中国語通訳ガイド資格をめざしているんです。個人的には北海道にこだわってきたいですね。



■阿部 萌子 (あべもも子)
観光産業学科4年
【留学先】中国・煙台大学
('06年9月~'07年2月、
'09年3月~'10年1月)

■清水 (敬)：僕は、日本から一歩出てみることを勧め、そこで得られた経験を伝えていきたいです。そういう意味で、今日の座談会がとてもいい機会を頂きました。

■清水 (洸)：語学力はまだですが、留学は僕にとって大きなプラスになりました。それを少しでも活かせる仕事に就いて、人の役に立つことができたらなと。

■吉川：私はまったく韓国語と関係ない企業から内定をもらいました。それでも、留学の経験が活きる場面はたくさん出てくると思うので、柔軟に発揮していきたいです。

——留学そのものが、大きなプラスになっていることがよくわかりました。私たち教員としても、もっと充実した留学を経験してもらえよう頑張ろうと思ひました。どうもありがとうございました。

留学だより 現在、韓国に長期留学中の学生から便りが届きました。

●野澤 まゆ子 (観光産業学科4年)

韓国に来てから3カ月経ちました。韓国の流れの速さに驚いています。

すっかりこちらの生活にも慣れ毎日楽しく忙しく過ごしています。大きな行事といえば2泊3日のメンバーシップトレーニングに2回行ってみたり体育祭があったり中間テストがあったり…。

1年生の時に留学していたのに比べ交友関係が広がりました。日語日文学科の他にも貿易学科や社会体育学科の授業を取っていることで日本語が全く通じない人達と話すことで勉強になっています。昔からの友達も今回来て友達になった人もとてもよくしてくれて本当にありがたいです。



前列右端が野澤さん

●三瓶 里美 (商学科3年)



後列左から2人目が三瓶さん

韓国に来て約3ヶ月、一番思い出に残っているのは、留学生を対象にした体育大会です。中国やロシア、タイ、ジンバブエなど様々な国の人たちとドッチボールやキックベースなどをやりました。私は英語があまりできないので交流できるのかと心配していましたが、みんな簡単な英語やかたこと韓国語を話したり、母国語を教えあったりしてとても楽しかったです。言葉が通じなくても話してみようと努力することができて友達もたくさん作ることができてとても良い思い出になりました。これからの留学生活も楽しく過ごして行きたいと思ひます。

●熊谷 翔平 (観光産業学科3年)

私たち、交換留学生3人が大田大校に来て、もう3カ月経とうとしています。とても早くて、何もやっていない気がするというのが今の正直な気持ちです。

学校の授業は、貿易の授業がとても難しいです。教材はすごく厚く、内容は日本語に訳してもわからないくらいです。ですが、貿易学科の友達や先輩に聞いて一生懸命ついていっています。もう少しで期末試験が始まります。今回は早め早めに準備を始めたいと思ひます。貿易学科の活動はあまりありませんが、日文学科の行事には留学生みんなとても積極的に参加しています。個人的には「先生の日」の行事で留学生を代表してお祝いのあいさつをしたり、体育大会ではサッカーに出場しました。また、先週は日文学科の学科長が、日本人と韓国人の交流を目的とした飲み会を開いてくれました。日文学科の教授方や学生たちもみなさんよくしてくれます。

TOPICS.. 話題4 語学能力認定試験に高レベルの合格者

韓国語検定について

韓国語の検定試験には「ハングル能力検定試験」(日本国内検定)と「韓国語能力試験」の二つがあります。「韓国語能力試験」は本国である韓国をはじめ

め全世界で行われ、韓国の教育科学技術部(日本の文科省にあたる)が認定しているという点でより汎用性が高く、かつ難易度も高いのが特徴です。よって韓国語履修者にも「韓国語能力試験」の受験を積極的に勧めています。目標とするのは最上級の6級ですが、この級は「専門分野での研究や業務遂行に必要な韓国語を正確・流暢に使用することができる」レベルだとされています。07年9月から10年4月までに実施された試験に2・3・4年生が受験し、6級1人、5級1人、4級9人、3級5人の合格者を出しています。本学における標準的な韓国語履修者の能力は、第4セメスター開始時点(2年次の後期、韓国語学習歴1年半)において3級のレベルに到達するのが一般的です。これは韓国語を専攻としていない学習者としては異例とも言えるほど早く、本学の語学教育プログラムが効率的に運営されている証だとも言えます。

なお、1年次の韓国語授業では、韓国語学習歴7ヶ月めの時点で「ハングル能力検定試験」の5級の受験を勧められており、07年度と09年度は受験者全員が合格しました。(水野)

本学「HSK」に合格者が輩出

「HSK」試験は中国政府が中国語を母語としない学習者のために世界全域で実施している唯一公認の中国語能力認定試験である。初、中、高の11級に分けられ、3級から証書が授与される。現在、海外で中国語を学ぶ人は約4,000万人に達しているといわれ、受験者は逐年増加し、競争も激しくなっている。本学の中国語学習者の合格者が年々増え、2009年まで、中等最高級の8級1人、7級1人、6級6人、5級5人、4級12人、3級7人の計32名が合格している。特に09年に2年生の合格者が多くなり、しかも6級、5級の合格者が目立つのが特徴である。

本年度のHSK試験はヨーロッパの言語テスト基準CEF(Common European Framework of Reference for Languages)に合致するよう全面改定され、受験者にとって未経験の新版になる。口語試験も新しく設けられるが、本学の受験者はおそらく今までと同じ高いレベルで合格するに違いない。受験者の皆さん頑張れ!

(蘇)

REPORT.. 報告5 北海学園北東アジア交流研究センター(HINAS)から

平成21(2009)年度の主な事業について報告します(詳細はHINASのHP参照)。

【HINAS・中国社会科学院国際共同シンポジウム-日中の経済発展と環境政策】

2010年2月8日(月)、9日(火)の両日、本学8階において、中国社会科学院世界経済・政治研究所(IWEP)との共催による国際シンポジウムを実施しました。IWEPからは張宇燕(Zhang Yuyan)所長以下5名の研究者が参加し、HINAS側と合わせて8つの個別報告と討論が行われました。(写真上)

【日韓国際学術会議-グローバル化時代の日韓関係】

韓国大田大校地域協力研究院とHINASとの日韓国際学術会議が、

2010年2月26日(金)韓国大田大校にて実施されました。本学からは5名、大田大校からは南副総長をはじめ9名の先生が出席されました。(写真下)



REPORT.. 報告6 東アジア観光情報学研究会

【活動報告】

1.研究会の開催

平成22(2010)年3月11日(土)10:30より、北海商科大学8階北東アジア研究交流センター(HINAS)会議室にて、研究会を開催しました。

(1) 研究報告

報告者：中鉢令兒(札幌国際大。現、北海商科大)。
報告テーマ：「成熟社会における旅行のあり方に関する研究I-江蘇地区水郷文化を視点として」。

(2) 書評、制度紹介、動向把握

- ①書評：「郝晓烂(Hao Xian Lan)著、『内蒙古旅遊可持續競爭力研究』」。報告者：伊藤昭男(北海商科大)。
- ②制度紹介：「韓国の通訳案内業制度について」。報告者：水野俊平(北海商科大)。
- ③動向把握：「台湾・香港・中国における旅行関連業の広告宣伝活動等」。報告者：加藤由紀子(北海商科大)。
- (3)年度末会議。

【本年度活動予定】

年度前期(4月~7月)についての予定は次のとおりです。
・「運営会議」の開催。
・「研究報告会」の開催。
・「制度紹介等」の開催。
後期(10月~3月)については、年度末に「研究会および年度末会議」の開催を予定している以外は今のところ未定です。10月~2月については前期の活動結果を踏まえながら適宜、計画を加えて行く予定です。(伊藤)



『観光情報学会』の下部研究会である「東アジア観光情報学研究会」(主査：伊藤昭男、幹事：細野昌和・加藤由紀子)の昨年度の活動と本年度の活動予定をご紹介します。

TOPICS 話題5 春の学生国際交流会

本年度は交流協定校から中国人留学生12名、韓国人留学生4名と、前期各員教授2名を迎え、4月10日、交換学生歓迎交流会が、本学地下自由学習コーナーで行われました。また、5月1日には交換留学生と日本人学生有志、国際交流センター教員有志で、本学と地域交流協定がある栗山町で春の留学生交流会を行いました。

例年は、札幌市内の円山公園で花見を兼ねて交流をしていたのですが、今年は留学生だけでなく、多くの日本人

学生に栗山町を知ってもらうきっかけにしたいと考え、栗山町の桜の名所である栗山公園で開かれた、栗山商工会議所青年部による「第3回 御大師山さくら祭り」に参加しました。

今年はどこも桜の開花時期が大幅にずれ込み、また当日は時折小雨がぱらつくあいにくの天気でしたが、まだ蕾が固い桜並木の遊歩道に設けられた特設コーナーで、北海道を代表する料理であるジンギスカンに舌鼓を打ち、地元の女性和太鼓チーム「艶美火舞羅」

の演奏や大道芸人のバルーンアートを楽しみました。

帰路には、栗山町の代表的な老舗である、明治11年創業の造り酒屋「小林酒造」を訪問しました。

学生達は日頃なじみの薄い日本酒について、1944年に建てられた旧日本社事務所を改装した「北の錦記念館」で、明治から昭和初期までの日本酒に関する道具や、日常生活に使われていた道具などの展示物を見学しました。また、かつて小林酒造の精米倉庫として利用されていた建物にある「レストラン蔵」では、ゼミでもお世話になった「北海道三富屋」さんのコロッケや、

「JAそらち南農産物直売所」で栗山町や由仁町産野菜や特産品を購入しました。こうした地元の企業や団体とのコラボレーションを意識した取り組みにも目を開いた一日でした。(加藤)



栗山町での留学生交流会 (5月1日)

REPORT 報告7 ゼミ訪問 コマース研究ゼミナール 中島 茂幸 教授 (商学科専門科目担当)

「簿記」とは、経済活動で発生する資産や負債、収益や費用などを体系的に記録する記帳方式のこと。中島茂幸 教授のゼミでは、「明日の企業人」をめざす学生が、現代ビジネス社会の基盤である簿記を学んでいます。

「実家が小売店を営んでいます。商業簿記の資格を取れば家業に役立つと思ったので」と佐藤裕美さん(商学科3年)。「実は計算が苦手なんです。がんばって合格をめざします」と話すのは佐々木浩介君(商学科3年)です。

中島教授のコマース研究ゼミナールは、商業簿記検定の取得をテーマとするゼミです。「黙ってひたすら問題を解く」のが一般的な簿記学習の風



景。しかし中島ゼミは、問題を解いた後、ゼミ生がホワイトボードの前に立ち、計算過程を説明するというユニークな学習スタイルです。議論あり、笑いあいの和気あいあいとした雰囲気の中、ほどよい緊張感がゼミ室を包んでいます。

2年次後半から4年次前半まで、ゼ

ミは4期にわたります。日商簿記検定が実施されるのは、2月、6月、11月。中島ゼミでは、2年次から3年次にかけて3級取得、3年次のうちに2級取得をめざします。

「現在の簿記をはじめて日本に紹介したのは、洋行から帰国した福澤諭吉が記した本です」と中島教授は話します。その本が1873(明治6)年に発行された『帳合之法』です。これは、米

は、本学入学後にはじめて簿記にふれ、検定に合格し、現在は難関の税理士資格の取得をめざして勉強中です。中島教授は個人指導を行う一方で、今年の春休み、会計事務所のアルバイトを紹介。「確定申告が立て込む時期で、大変さが身にしみました」と話す横山君のなかで、学問が「実」を結びつつあるようです。

「企業経営における会計・簿記とは、企業の情報を整理し、読み、活用するための技法・道具です。簿記の反復トレーニングは技法・道具を手にすること、磨くことなんです」と中島教授。日々繰り返すトレーニングを通して、中島ゼミの学生たちは、一步また一步と「明日の企業人」へと近づいています。

REPORT 報告8 著者に聞く 菊地 均 教授

『シュンペーター』

●菊地 均 教授 著
2010年4月30日刊 / 共同文化社 / 定価780円
ISBN 978-4-87739-178-2



経済学者という枠を超え、社会科学者と評されるジョゼフ・アロイス・シュンペーター(1883~1950年)。彼の生涯と研究成果、その理論体系の意義と限界について、菊地均教授が記した著書『シュンペーター』(共同文化社・780円)が4月30日に発行されました。

オーストリア出身のシュンペーターは、それまでの経済学にとらわれず、「企業家によるイノベーション(革新)の遂行」と「銀行家による信用創造」を軸に、「創造的破壊」(Creative Destruction)の理論を唱えました。いま、経営者から学生まで広く関心を集めているピーター・ドラッカーに大きな影響をあたえた人物でもあります。

現在62歳の菊地教授がシュンペーター研究に取り組むきっかけとなったのは、同じ師の下で学んだ先輩研究者である金指基氏(きさき)の存在でした。金指氏は研究なかばにして55歳で早逝。以前からシュンペーターに興味をもっていた菊地教授は、55歳になった年、

金指氏の志を受け継ぐことを決めたのだといいます。

「近代経済学の限界を超えたテーマの広さと奥行きが、シュンペーターの魅力です」と菊地教授。「現実のマーケット」と「理論としての経済学」との橋渡しをしたシュンペーターの考え方は、経済学の主流であったことはありませんが、常にその周辺にあり、時代の転換期には必ず取り上げられてきました。

海外から流入する安価な商品やサービス、高齢化問題や雇用状況など、日本経済は大きなターニングポイントに立たされています。将来につながる次の戦略を考える上で、シュンペーターの考え方は大きなヒントになると菊地教授は言います。「例えば、福祉やボランティアのあり方なども経済にのせていく。地域を活性化するための材料はたくさんあるはず。そうすると、日本はもっと住みやすい国になるのではないのでしょうか。」

これからは、多様化、グローバル化する社会に適応できる学生を育成していきたいと語る菊地教授。現在は、「シュンペーター」の姉妹編であり、500ページにおよぶという「シュンペーター批評——資本主義の発展と変動」を精力的に執筆中です。



菊地均教授

ともに簿記を勉強すれば、ともに商売の方法を知り、ともに金持ちになり、国が豊かになる」と記されています。

「福澤諭吉が勧めた“学問”は、生活や商売に使える実学だったのです」。そう語る中島教授自身、税理士としてのつとめた実学に教育の重点を置いています。ゼミで計算過程を説明させるのも、プレゼンテーション能力を養うトレーニングを兼ねています。

ゼミ生の横山直哉君(商学科4年)



ゼミの皆さん：前左から三浦綾乃さん、吉田真扶美さん、佐藤裕美さん、片石愛香さん、藤川歩惟さん、後列左から小岩元君、横山直哉君、松原圭佑君、中島茂幸教授、佐々木浩介君、齋藤裕也君、大塚岬君

REPORT 報告9 キャンパスベンチャーグランプリ2009

日刊工業新聞社が主催し、経済産業省北海道経済産業局、北海道、札幌市、北海道経済連合会、北海道商工会議所連合会、北海道商工連合会、北海道化学技術総合振興センター、北海道中小企業家同友会、産業技術総合研究所北海道センターが後援する、学生のためのビジネスプランコンテストである「キャンパスベンチャーグランプリ：CVG」が今年も開催された。本学からは、アントレプレナーシップ論の履修者らが、実践的なビジネスプランを掲げて応募し3グループが入賞した。表彰式および祝賀会は、2010年2月9日に札幌ガーデンパレスで開催された。懇親会場は、高向廠商工会議所会頭や千野俊猛日刊工業新聞社長、山本雅史北海道経済産業局長、北野邦尋産業技術総合研究所北海道センター所長ら各産業界の重鎮と学生が気軽に名刺交換できる場(日刊工業新聞CVG事務局)として用意されていた。受賞者の一人である小幡伸太郎君は、就職活動で受賞したことを履歴書に書くこ



表彰者、左から小幡伸太郎君、乙川遼君、佐野浩司君、梅田功嗣君、品木優美さん、鶴巻美南さんとができること、CVGで予選を通過してプレゼンテーションの臨んだ経験が入社試験の面接にも役に立った。その結果早々と就職も内定したとのことである。本学は、実学を旨とする商学系の大学であり、是非とも多くの学生が挑戦されたい。(堤)

今回の入賞者のテーマと氏名は次のとおりである。努力賞：「ベットのシートを中心とした地域資源活用社会の提案」小幡伸太郎、鶴巻美南、品木優美、佐野浩司、「QRコードを用いた洋服のコーディネーター」乙川遼、梅田功嗣、佳作：「Web菜園」佐野浩司。(全員が現商学部4年)

2010体育祭

photo gallery



体育祭速報!

5月22日、NTT北海道セミナーセンタ体育館において、第5回体育祭が開催されました。参加22チーム、215名が3競技にわたって熱い戦いを繰り広げました。朝9時から19時まで、事務職員チームも参加するなど、長時間にもかかわらず学年を越えた交流に有意義な一日となりました。

優勝はバレーボール〈男子「パレサー」・女子「エースをねええ」〉、大縄跳び「チームBeauty」、バスケットボール〈男子「G-Boys」、女子「4 Seasons」〉の各チームでした。

REPORT. 報告10 2010年度サークル紹介

学習面・就職活動で成果を上げている本学ですが、課外活動においても体育会系10、文化系12、委員会4の合計26団体が活動をおこなっています。

課外活動といえば、競技主体の体育会系が目立つ存在ですが、本学においては、学生自身の主体性が生かされた多様な活動に多くの学生が参加しています。勉強だけではなく、大学生活を意義深いものにする貴重な経験が得られるのがサークル活動です。



フットサル部の米国チームとの親善試合

- 体育 軟式野球部
- 体育 女子ラクロス部
- 体育 サッカー部
- 体育 バスケットボール部
- 体育 テニス部
- 体育 陸上競技部
- 体育 フットサル部 (REGISTA)
- 体育 スキー部
- 体育 ドッジボール部 (Hi☆TACHI)
- 体育 バレーボール部
- 文化 中国語サークル (歓々喜々)
- 文化 ツーリズム研究会
- 文化 韓国語サークル
- 文化 軽音部
- 文化 イベントサークル
- 文化 教育研究会
- 文化 環境ボランティア部
- 文化 会計研究会
- 文化 キャリアアップサークル
- 文化 英語サークル (DOLCE)
- 文化 食文化研究サークル
- 文化 吹奏楽部 (北海道科ウインドオーケストラ)
- 委員会 北海道科祭実行委員会
- 委員会 体育祭実行委員会
- 委員会 卒業アルバム制作委員会
- 委員会 サークル連合

TOPICS.. 話題6 大学生協北海商科大学店オープン

3月24日、文具、書籍、日用雑貨、食品、飲料品など、大学生活には欠かせない商品を揃えた大学生協が、地下1階にオープンしました。熊谷健治店長とお話を聞きました。

大学生協の特徴は組合員となることで様々な割引サービスが受けられます。書籍の5～10%割引、学外の各種スクールやDPE、クリーニングの受付、また、リクルートスーツなどの販売店の紹介も行っています。旅行業務の取り扱いは北海学園大学店での申し込みですが、チケットなどは商科大学店でも受け取ることができます。これまでになかった軽食コーナーも、現在はうどん、そば、カレーライスのみですが今後はメニューを増やすことも計画中です。

利用者の皆さんの声を積極的に聞き、品揃えをより充実させるなど、大学に密着した店を皆さんと一緒に作ってきたいとのことでした。



大学生協店内



軽食コーナー

- 営業時間 10:00～16:00 (平日営業のみ)
- 軽食コーナー 11:45～13:45
- 休業日 土・日および大学の休業日

医務室から～『二十代の健康』① 医務室 二瓶 妙子

「水分補給」

暑い季節がやってきます。この時期、熱中症など体には過酷な時期でもあり、水分補給は欠かせません。

体の60%は水分といわれています。呼吸や発汗、排泄などで体から抜ける一日の水分量は、成人で約2.0～2.6ℓといわれています。では、単純に2.0ℓ前後の水分を補給する必要があるのかというと、そんなことはありません。また、体内の水分は単なる「水」ではないので補給するには、少しだけ気を使う必要があるようです。

例えば、スポーツで大量の汗をかくと体内の塩分も一緒に失われます。だから、体内のPHバランスを考えて、ミ

ネラル成分の入ったスポーツ飲料で補給するのがいいのです。このとき、ミネラルウォーターなどで半分に分ったほうが体への負担が少ないようです。

しかし、「嘔吐」や「下痢」は電解質が失われ、「脱水」症状を起こす場合があるので、薄めずに飲んでも構わないでしょう。

熱があつてたくさん汗をかいたときには、冷たい水が飲みたくなります。そのほうがスッキリするでしょう。でも、冷たい水は意外に体からエネルギーを奪ってしまうのです。糖分の多いジュース類も同じです。

体が弱って消耗著しいときは、白湯などを冷まして摂るほうが、体にはずーっと負担が少ないようです。



イラスト・十五島ナナ

INFORMATION... お知らせ

新任教員挨拶・略歴、交換教員紹介

商学科教授 橋元 理恵



「管理会計論」「経営分析論」...

学生の皆さんが、卒業式の時に...

神戸商科大学(現、兵庫県立大学)...

観光産業学科教授 中鉢 令兒



「観光政策論」「観光振興論」...

最近、観光政策の事例確認のため...

東京理科大学理工学部卒業、1974...

また、1994年から社会人学生として...

交換教員 張 德蘇



私は中国山東大学威海分校の張德蘇...

※両先生とも担当科目は「中国語I」「中国語会話・作文I」です。

交換教員 吳 雪燕



私は中国山東省煙台大学の呉雪燕...

新任職員紹介



キャリア支援・学生支援 奥野 充輝也

2010年本学商学部 商学科卒業。

皆さんの力になれるように、一生懸命...



医務室看護師 二瓶 妙子

2005年北海学園大学経済学部経営学科...

心身ともに大きく成長しようとする時期に...

INFORMATION... お知らせ

『北海商科大学公開講座』開講

2010年度前期公開講座「東アジアのコミュニケーションとビジネス」...

- 日時：2010年5月8日(土)～7月3日(土) 10:30～12:30
場所：北海商科大学8階会議場
参加対象：一般市民(含む学生)
参加費無料



2010年度前期ポスター

日程と内容

Table with 2 columns: Date and Content. Includes dates like 5月8日, 5月22日, 6月5日, 6月19日, 7月3日 and topics like '漢字文化と中日交流', '留学教育-最近30年の状況', etc.



お問い合わせ先 北海学園北東アジア 研究交流センター (HINAS)
TEL.011-841-1108 FAX.011-841-1109
Eメール hinas@hokkai.ac.jp
ホームページ http://www.hokkai.ac.jp/hinas/

INFORMATION... お知らせ

今後の行事予定

2010年の行事予定(6月1日現在)

Table with 2 columns: Date and Event Name. Includes dates like 6/11, 6/19, 6/26, 7/23, 7/31, 8/3, 8/4, 8/6, 8/6, 8/8, 8/10, 8/14 and events like '前期修学指導面談', '海外語学留学保護者説明会', etc.

TOPICS... 話題7

2010年度交換留学生が来日

4月、今年も本学は、交流協定校である中国の「山東大学威海分校」「煙台大学」、韓国「大田大学」から、交換留学生を迎えました。

■煙台大学 外国語学院日本語科 蘇 静尚 (ソセイコウ) さん

高校時代から、古くから中国と国交の続く日本に、なかでも経済システムに興味をもっていました。



煙台大学からの交換留学生 前列左より、徐嘉韓さん、尹春英さん...

■山東大学威海分校 翻訳院日本語科3年 張 艶 (チョウエン) さん

同じ学科の先輩から「ぜひ行くべきだ」とアドバイスを受け、留学を決めました。

り合えた人たちの交流です。友人とのコミュニケーションなどを通して、本当の日本のすがたを自分の目で見る。



山東大学威海分校からの交換留学生 前列左より、劉旭さん、司奥蕾さん、劉洋さん、趙東平さん...

■大田大学 日語日文学科4年 表 康一 (ビョウカンイル) さん

専門学校を卒業した後、日本と関わりのある会社で働いていたのです。



大田大学からの交換留学生 左より、呉吉煥さん、薛翰洙さん、李ハナさん、表康一さん